

志津まちづくりセンターよりお知らせ

センターで活躍の 自主教室が活動報告!

2月23日(土)午前10時より、志津まちづくりセンターの自主教室交流会において、11団体の自主教室より69名が参加して、日ごろの活動の成果をお互いに披露しました。

コーラスや体操など、会場の参加者が一緒に歌ったり、体を動かしたり出来る参加型の工夫された発表もあり、参加者は楽しい時間を過ごしました。最後に、「志津男の料理教室」が準備された昼食を、各団体の懇親会としてみんなでいただき、和やかな雰囲気での交流会を終えることができました。参加、協力いただいた各団体の皆さま、ありがとうございます。



▲参加者全員で「切手のないおくりもの」を合唱

最後に、「志津男の料理教室」が準備された昼食を、各団体の懇親会としてみんなでいただき、和やかな雰囲気での交流会を終えることができました。参加、協力いただいた各団体の皆さま、ありがとうございます。

(事務局:井上教真)

出張料理教室 M'skitchen

タンパク質・カルシウム豊富な乳製品を使った健康料理です

日時:4月16日(火曜日)10:00~13:00

場所:志津まちづくりセンター

受講料:600円(材料費)当日徴収します

定員:24名(先着順)

申込:3/15(金)~4/5(金)ロクハ荘に直接・電話・FAX
(キャンセルは4/10迄に連絡して下さい)

持物:エプロン・三角巾・筆記用具

メニュー ○生姜風味の和風カレー

○モツツアレと豚肉のさっぱり和え

○和風パンケーキ

○ヨーグルトクリーム抹茶仕立て

(低塩料理です)

申込み・問合せ

(公財)草津市コミュニティ事業団

草津市立ロクハ荘

TEL 563-5021/ FAX567-4269



平成31年

志津まちづくり協議会 定期総会ご案内

日時:平成31年3月30日(土)午後1時30分~

内容:平成31年度事業計画(案)、収支予算(案)について

場所:志津まちづくりセンター 2階大会議室

傍聴希望者:志津地域内の居住者

★傍聴を希望される方は、会場設営の関係により3月23日(土)

までに町内会・自治会名とお名前を志津まちづくり協議会

事務局(志津まちづくりセンター内)へ直接または、電話/

FAXでお申し込みください。

第7回志津やすらぎ学級 一般教養講座 「困ったときのい・ろ・は」

2月15日(金)、第7回志津やすらぎ学級は、「困ったときのい・ろ・は」と題し、草津市内で活動されている「認知症キャラバンメイト」の皆さんと、高穂地域包括支援センターの方々にお越しいただき、認知症についての学習と、困った時にどこに相談に行けばよいのかなどのお話をお聞きしました。「地域包括支援センター」は中学校区にひとつずつ設置されている地域の身近な公共の相談機関であり、センターの場所と、そこに寄せられている具体的な事例などをご紹介いただきました。また、キャラバンメイトの皆さんからは、認知症は脳の病気であり、早期発見・早期治療が大切であること、何よりも一番不安に思っているのは本人である、認知症の人がしてほしい事・してほしくない事は、元気な人と同じである等のお話をいただきました。

みんなが気持ちよく暮らしていくために、自分自身が「相手を思いやる気持ち」に磨きをかけながら、不安なことや困ったことがあった時には、民生委員さんなどの身近な人や志津地域担当の「高穂地域包括支援センター」に相談できることを再確認できました。



▲キャラバンメイトさんによる体操指導の様子 (事務局:鶴田真理子)

志津学区住民アンケート調査 ご協力のお礼

平成31年1月31日を期限とした志津学区住民アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。今後は頂戴いたしましたアンケートの分析等を行い、志津まちづくり計画に反映できるよう、アンケート調査特別委員会で検討をしていきます。

志津まちづくりセンター 改築工事のお知らせ

昭和53年の竣工から41年が経過し、施設の老朽化が進んでいる志津まちづくりセンターの改築工事が、現在の駐車場用地に6月頃より実施いたします。

改築工事は、現センターの運営を図りながら進められます。工事期間中、利用者の方には、ご不便とご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

志津まちづくり通信

志津学区人口13,541人 男7,025人 女6,516人 (平成31年1月31日現在)

第29号
発行:平成31年3月15日
志津まちづくり協議会
(志津まちづくりセンター内)
〒525-0041
草津市青地町561番地
TEL・FAX 077-562-0047
HP: http://kusatsu.or.jp/machikyoushizu/

「変革あつての前進」 志津まちづくり協議会 会長 竹村 勇

志津学区の皆さま、自治会(町内会)、各種友好団体、サークル組織等の構成者をもって運営している「志津まちづくり協議会」です。

社会の変化と共に歩み続ける「志津まちづくり協議会」の未来は、老若男女一人一人の方々、地域に存在する法人の方々に幅広く組織として、新たな局面を迎えつつあるものと考えております。

この時に当たり、久しく親しんで参りました旧志津市民センター(公民館)が老朽化し、平成32年春には、志津学区民の交流サロンとして、新しく「志津まちづくりセン

ター」としてオープンいたします。
皆さま(幼児から大人まで)の居場所として、バリアフリー化はもちろん、憩いのカフェをはじめ、読書スペース、土を練りどんぐりコマを創作する工作室を持つ平屋建てのまちづくりセンターに生まれ変わります。
志津まちづくり協議会は「人とひととの結びつきを大切に、互いの友情を深め「さらに住み続けたいまちづくり」をみんなで考え、行動するみんなの組織です。一致団結して、常に変革を恐れず前進する組織と、私は考えております。

ふれあいサロンの紹介

「楽々サークル」「カフェひだまり」 青地第二町内会



▲おしゃべり会の様子

開催日:毎週水曜
(三週のみ木曜)
時間:10:00~11:30
場所:青地第二会議所
内容:百歳体操、
季節のイベント、
おしゃべり会

「いきいきサロン」 岡本町町内会



▲歌声ひろばの様子

開催日:毎月第2木曜、
第4火曜
時間:10:00~14:30(木)、
9:30~12:00(火)
場所:岡本町自治会館
内容:百歳体操、
季節のイベント、
おしゃべり会

避難所運営訓練(リアルHUG訓練)を実施!

1月19日(土)志津まちづくりセンターにおいて、地域の方67名が参加し、「志津学区自主防災研修会」を開催しました。今年度は、災害時を想定して実際に人が動く「リアルHUG(避難所運営)訓練」を実施しました。

避難者・受付・誘導・作戦・救急とそれぞれの役割を分担して実施しましたが、避難所の運営が非常に難しい事を痛感しました。また、避難者全員が新聞紙で防災スリッパを作り、新聞紙の利用用途の広さを再認識しました。仮設ベッド、仮設トイレ、防災ロープの結び方の訓練も行ないました。

今後はもっと訓練を重ね、混乱した中でも安心して避難者が生活できるよう、日頃から防災意識を高く持つことが大切だと実感する訓練になりました。(防災・防犯・交通部長:宇野敬造)



▲リアルHUG訓練の説明



▲受付の説明



▲作戦本部の様子



▲仮設ベッドの設営

◎地域環境美化活動

一人一人の心のマナーで美しいまち ~ポイ捨て0のまち~ **志津**

元旦マラソンに臨んで

本年も小槻神社および青地第二町内会周辺において、元旦マラソンが実施されました。

毎年、年の初めの元旦の早朝、小槻神社の初詣をされる地域の皆さまの参加を得て、このマラソンが実施され、すでに38年の月日が経過してまいりました。毎回その実施に当たっては、役員および各町内会長のご理解、ご協力なくして実施できるものではありません。そして何よりも、このマラソンに参加しようと、日々の練習を重ねてこられた選手の方々がいてくださるからです。初めて参加される方も、毎年続けておられる方も、その意気込みは凄まじいものがあり、今年も素晴らしい記録が生まれました。

今後、この日に向けて準備してまいりますので、ぜひ皆さんの参加をお待ちしています。

(志津地区体育振興会：奥村輝雄)



1 kmのスタート

新春「書き初め」大会で力作に挑戦!

学区子ども会では、1月5日(土)に志津まちづくりセンターを会場に書き初め大会を開催しました。書き初めは『新年の始まりに際し、その年の心構えや抱負を書き記し精進するもの』と言われております。参加の小学2年生~6年生の子どもたち17名は、講師の先生の指導のもと、それぞれに力強く書き上げ、力作が完成しました。

今年度も学区子ども会では、ジュニアリーダー養成講座などの活動を通して子どもたちの成長の一助になる取り組みを実施しており、また様々な団体からもご支援をいただき感謝しております。今後も子どもたちの成長を願い努力していきたいと思っております。

(子ども会指導者連絡協議会 四十九院崇彦)



▲書き初めの様子

志津人権推進協議会総括研修会・第2回人権講座を開催しました

2月8日(金)志津人権推進協議会主催の総括研修会を開催しました。今年度の各町内学習懇談会の実施報告、青地第一町内会(モデル町)の実施報告に続いて、第2回人権講座として、杉江範昭先生より「わたしのふつう…、あなたのふつう…?」~解決の糸口として「ふつう」にこだわる~と題してご講演いただきました。

私たちは日常生活において「ふつう〇〇」という言い方をよくしますが、ふつうとは誰にとってのふつうなのか?ふつうとは一体何を基準にしているのかということについて考える機会となりました。先生が講演の最後に、差別に関わらない生き方、差別を避けることが幸せにつながるという生き方が、結果的に差別を残すことにつながっているとされたことが心に残りました。

(志津人権教育推進協議会：宇野禎持)

伝統野菜づくりに取り組む「こんこん会」

草津市北山田地区などに伝わる「山田ねずみ大根」、先の形がねずみに似た約20cmの辛味の強い大根で、歯ごたえがあり、きめが細かい。素朴で大根の風味が生き、地元で親しまれてきたが、農家の高齢化や宅地化で大根の栽培が減るのに伴い、漬け込む家庭も少なくなっていった。

青地第二町内会の青地吉継さんが、自家用に漬けていた大根を地域の集まりで振る舞い好評だったので、地元の仲間(6人)と「こんこん会」を立ち上げ青地さんの畑、約10㎡で栽培を始めた。

12月初旬に収穫した大根を約10日間天日干しした後、年末に樽を持ち寄り、米ぬかや塩に加え干した柿の皮となすびの葉、大豆を入れて一緒に漬け込んだ。(3カ月位で食べ頃になる)採りたてのねずみ大根をおろしてそばに入れると、大根の辛みと出汁が絶妙に合い、自然の中(畑)での食事は約30名の参加者に好評だった。

(志津まちづくり協議会 副会長：奥村弘)



▲ねずみ大根



▲食事会の様子

ふるさと志津の原風景写真パネル完成!!

「50~60年前の志津の暮らしや原風景の写真」を募集させていただいたところ、多くの皆様から貴重な写真を数多くご提供いただきました。その一枚一枚の写真が志津の歴史、「昭和」という時代の大切な記録・証言であり、「志津がどのような町として成長してきたのか」、「どんな魅力があるのか」を知る手掛かりとして光を放ちます。全て、志津の宝としてデータ化し、保存・共有させていただくと共に、収集した写真を「ふるさと志津の原風景 88枚の写真パネル」としてまとめ、3月9日に完成報告会を開催しました。今後、様々な機会、場所で展示公開をしていきますので是非ご覧ください。1枚の「写真」から楽しい話題が広がります。

(教育・文化部長：寺尾信一)



▲作成中の展示パネル

「志津学区の医療福祉を考える会議」を振り返って!

高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らせるように、地域の高齢者を支える活動をしている関係者並びに医療や介護サービスに携わる関係者が一堂に会し、高齢者の現状を把握するとともに、課題や解決方法について話し合いました。団塊の世代が70代となり、今後ますます増加傾向にあります。

「向こう三軒両隣」お互いさまの気持ちを大切に、高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らせる、そんな願いを叶える「まちづくり」を目指しています。本年度は初めて、志津学区で「認知症声かけ訓練」にも取り組みました。訓練を通して地域の皆さんが認知症を正しく理解し、地域でのつながりを持ってもらうことを目的としています。

昨年4月に「志津のあんしんつながりノート」を全戸配布しています。この冊子は高齢者支援等に関する地域の情報を掲載していますので、交流にご利用ください。

(福祉部長：服部孫司)



「第18回草津市子ども環境会議」に今年も参加しました!

1月26日(土)に草津市役所で開催された草津市子ども環境会議に志津わんぱく協働校の子どもスタッフが参加しました。今年のテーマは「環境はくさつみんなの宝物」です。志津わんぱくの子どもたちも志津の宝物の一つである小槻神社にあるたくさんの自然について調べたことを発表しました。今年のデイキャンプのテーマが「小槻神社ミステリー~自然のヒミツ~」だったので、ちょうどテーマに沿った発表をすることができました。志津にはまだまだたくさんの宝物があります。身近な歴史や自然など子どもたちの学び舎である志津の町をこれからもっと探検したいと思います!

(志津わんぱく協働校企画委員会：石松恒人)



▲壁かけ新聞の前で説明する子どもスタッフ

「健幸のまち志津」事業報告



健康みそづくり
1/24

笑いと健康
2/16



けん玉広場
2/16

けん玉大会
3/2

~お知らせ~

第3回健康ウォーキングの開催

日時：3月20日(水)午前10時~
内容：青地第二町内会の河津桜を見に行こう!
※詳しくは町内回覧をご覧ください